

NOMURA

NOMURA

デット・インベスター・プレゼンテーション

2011年3月期第2四半期 決算説明資料

野村ホールディングス株式会社

本資料は、米国会計基準による2011年3月期第2四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2010年10月29日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

プレゼンテーション

- 野村グループ：概観
- 2011年3月期第2四半期 決算概要
- 資本、流動性およびリスクマネジメント
- 資料

- 1 野村グループ - 概観
- 2 2011年3月期第2四半期 決算概要
- 3 資本、流動性およびリスクマネジメント
- 4 資料

野村グループの概要

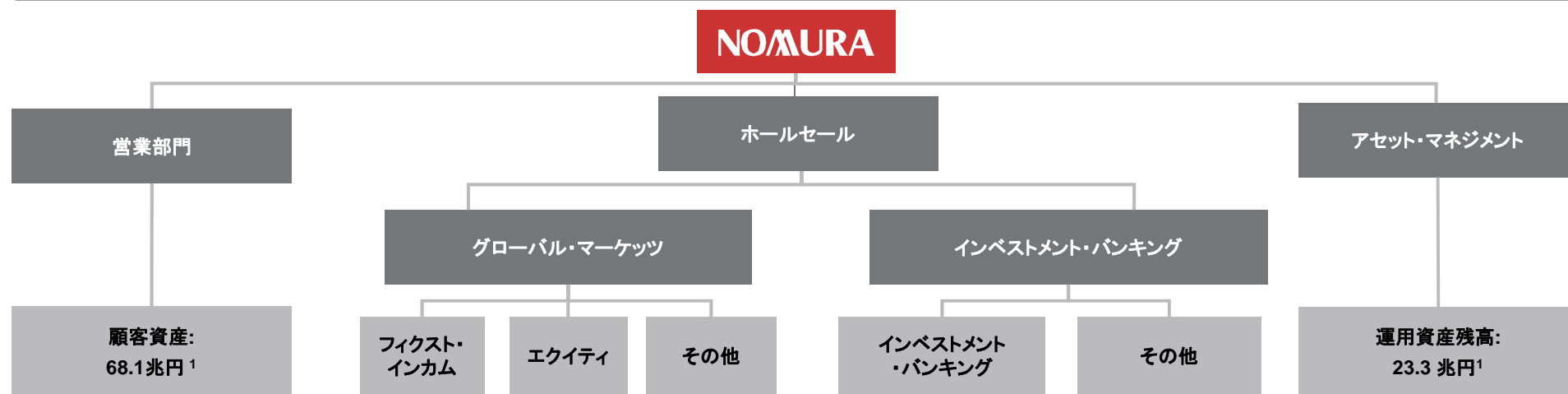
- **世界クラスの金融サービス会社の構築に向けてグローバル戦略を遂行**
 - 国内資本市場において非常に重要な地位を占め、主要分野においてトップシェアを維持
 - ホールセール部門の成長見通し、およびこれを支える営業部門・アセットマネジメント部門は各分野で主導的地位にあって安定的な収益を生み出す
 - 基盤拡大中の米国では早くも結果が伴い始める

- **強固で流動性の高いバランスシートにより市場への流動性供給者としてのキャパシティを確保**
 - 業界トップクラスのTier 1基盤、第2四半期末16.5%(バーゼル2ベース)
 - 流動性プールは約650億ドル(約5.4兆円)とバランスシートの成長に合わせて歴史的な高水準を維持
 - バーゼル3新資本規制や流動性規制に対しても、ビジネスモデルあるいは調達計画の特段の見直しを迫られることなく対応可能と想定

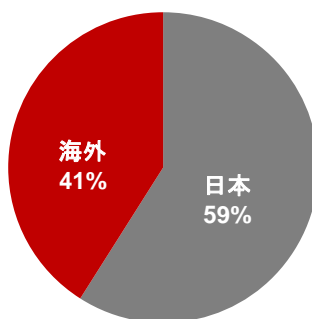
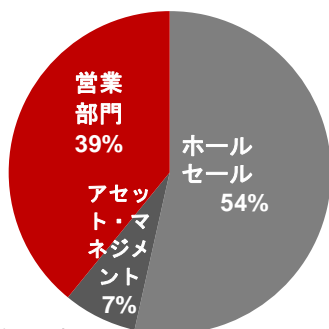
- **顧客にフォーカスしたビジネスフランチャイズ構築のための投資を一定の規律のもと継続**
 - 各地域において経験豊富なトップレベルの人材を統制をもって採用
 - ゼロから構築された統合的なテクノロジーに基づくインフラは野村の競争上の強味、グローバルなオペレーションの効率性を高めソリューションを提供、将来に向けてのコストシナジーを創出
 - 厳格なコスト管理

顧客にフォーカスしたリーディング・インベストメントバンク

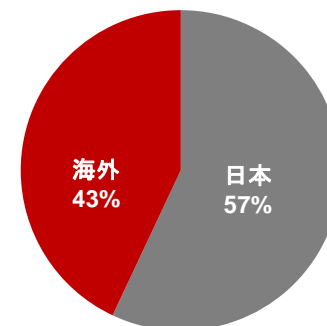
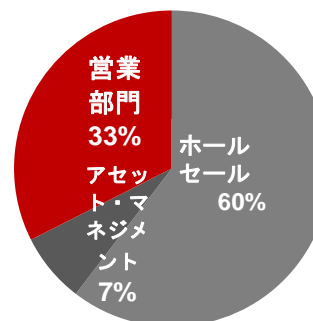
- 総資産約34兆円¹, 2万7千人を超える従業員によってグローバルに展開、海外47都市のオフィスを通じて投資銀行業務、アセットマネジメントやブローカレッジに関するフルラインの金融商品やソリューションを提供
- グローバルなプレゼンスと経験、強固なバランスシートのキャパシティと業界トップクラスの資本基盤
- 3つのビジネスピラーは顧客にフォーカスしたグローバルな金融機関として展開する基礎をなし、経済サイクルに左右されない多様な収益を生み出す源泉



収益合計内訳 部門別 / 地域別³ (2011年3月期第1半期)



収益合計内訳 部門別 / 地域別³ (2011年3月期第2四半期)



1. 2010年9月末
 2. 2010年3月末
 3. 地域別データは暫定値

- 1 野村グループ - 概観
- 2 2011年3月期第2四半期 決算概要
- 3 資本、流動性およびリスクマネジメント
- 4 資料

2011年3月期第2四半期決算の概要

■ 世界的に市場取引の低迷が続くなか、6四半期連続の黒字を達成

- 第2四半期収益(金融費用控除後)は前四半期比6.1%増、前年同期比8.1%減
- ホールセール部門収益は前四半期比50.5%増、全部門において業績が向上、マーケット・ワイドで売買量で低迷するなかトレーディング収益で71.7%増を果たす。前年同期比では収益は18.0%減
- 海外投資商品への強い需要や資金流入に関わらず、営業部門は市場全体の取引量の低迷をうけ、好調であった前四半期から20.9%の減収
- アセット・マネジメント部門は、投資信託への安定的な資産流入や投資顧問ビジネスの海外顧客からの受託が伸びるなど、改めて市場サイクルに左右されない事業の安定性を発揮、前四半期比6.5%、前年同期比17.2%増収

■ 米国の基盤拡大は着実に進捗、必要とされる規模へ到達しつつある

- 2010年10月の株式現物取引や株式リサーチ部門の正式な立ち上げにより、米国におけるフィクスト・インカムやエクイティの主要商品の供給能力が完全に整う
- 投資銀行業務は依然立ち上げ期にあるものの、既にクロスボーダーの大型案件を獲得
- *Institutional Investor*誌による全米フィクストインカム・リサーチチームランキングで7位に
- 収益および税前利益は上向き

■ 引続き強固な資本基盤と潤沢な流動性を維持、不透明な市場環境や変化する規制環境に備えた慎重方針を継続

- 2010年9月末Tier 1比率16.5%(パーゼルIIベース)のほぼ全てが普通株資本、業界トップレベルの資本水準は競争上の優位点
- 現在までに明らかになっている規制上の所要水準を大きく上回るTier 1コモン比率を2013年3月末において維持できる見込み
- 流動性プールは約650億ドルと引き続き歴史的な高水準、資金調達状況の悪化や新たな規制にそなえるべく総資産の15.7%相当を維持
- 安定的な調達構造、平均長期負債償還期限は6年超

■ 統制のとれたリスク管理、低流動資産も保守的に管理

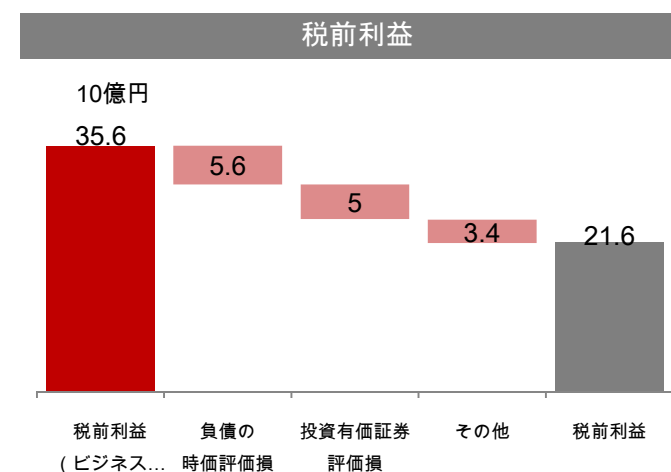
- グロスベースのレベル3資産は約1.47兆円、Tier 1資本の76% (レベル3デリバティブ負債控除後で44%)と保守的な水準
- バランスシートの成長や取扱い商品レンジの拡大にもかかわらずVaRは安定的に推移

決算概要

ハイライト

- 第2四半期の収益合計は2,756億円、その他セグメントにおける負債の時価評価損56億円および投資有価証券評価損50億円を計上しつつ前四半期比6.1%増。
- 税前利益は前四半期比233.8%の増益の216億円。野村ホールディングス株主に帰属する純利益は11億円、前四半期比54.7%の減益
- 資本市場における取引が世界的に低迷するなか、第2四半期は3部門全てにおいて税前利益を計上し、ビジネスセグメント合計の税前利益は356億円に増加
- ホールセール部門の収益合計はフィクストインカム的好調とエクイティの発行市場および転換社債ビジネスが上向きとなったことをうけ50.5%増収の1,634億円
- インベストメント・バンキングでのクロスボーダーM&Aの増加および日本・アジア地域でのECMビジネスの成長と相まって、ホールセール部門の税前利益は前四半期の411億円の赤字から76億円の黒字に転換
- 営業部門の収益合計は株式市場の低迷を主因に、特に好調であった前四半期から20.9%減の878億円。ただし好調な外国債券販売により顧客資産は純流入
- アセット・マネジメント部門は安定的に収益に貢献し、収益合計は前四半期比6.5%増の193億円

	(10億円)			
	2010年3月期 2Q	2011年3月期 1Q	2011年3月期2Q	前四半期比 / 前年同期比 (%)
収益合計 (金融費用控除後)	¥300.0	¥259.8	¥275.6 (\$3,300 mn)	+6.1% / -8.1%
税前利益	¥27.3	¥6.5	¥21.6 (\$259 mn)	+233.8% / -20.9%
純利益 ¹	¥27.7	¥2.3	¥1.1 (\$13 mn)	-54.7% / -96.2%



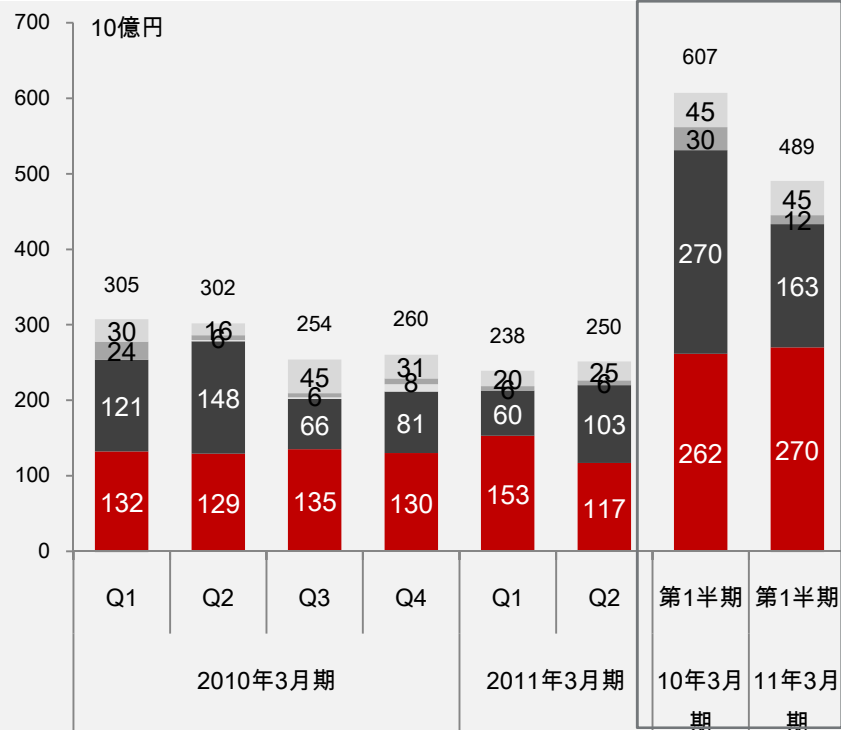
1. 野村ホールディングス株主に帰属する純利益

収益トレンド

- 委託・投信募集手数料およびアセット・マネジメント業務手数料は引き続き事業および景気サイクルに左右されない安定的な収益エンジン
- 営業部門およびアセット・マネジメント部門は、ホールセール部門のグローバルな成長を支える基礎としての役割を果たす

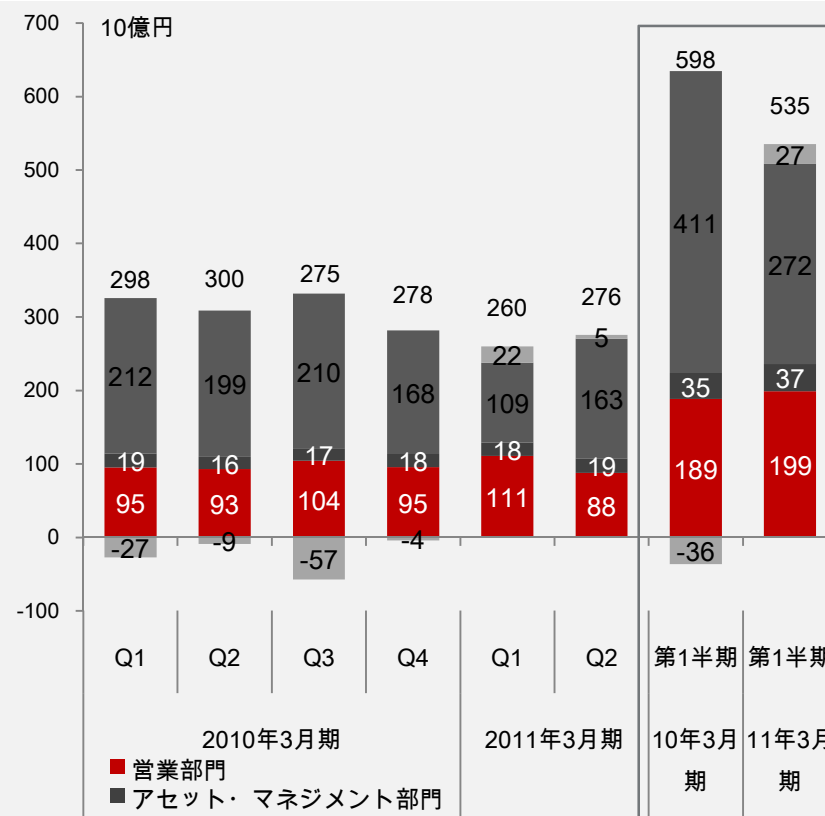
収益トレンド

項目別収益(金融収益および金融費用除く)



- 委託・投信募集手数料およびアセット・マネジメント業務手数料
- トレーディング損益
- プライベートエクイティ投資関連損益
- 投資持分証券関連損益およびその他
- 投資銀行業務手数料

セグメント別収益合計



- 営業部門
- アセット・マネジメント部門
- ホールセール部門
- その他

注: 上図の“その他”には営業目的で保有する投資持分証券の評価損益を含む

ホールセール部門: グローバル・マーケット

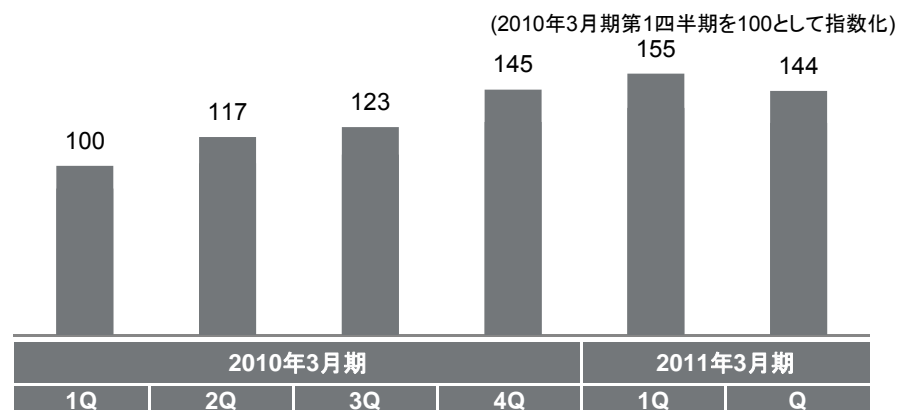
- 全てのビジネスラインの収益が改善、ホールセール部門の業績は顧客アクティビティが引続き低迷するなか前四半期から改善
- 第2四半期はキャッシュ、デリバティブスビジネスにおいて新たに1,200人以上の顧客とトレーディングを開始

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

	2010年3月期			2011年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益合計(金融費用控除後)	199.3	210.1	168.4	108.6	163.4
金融費用以外の費用	161.1	161.6	133.2	149.8	155.8
税前利益/損失	38.2	48.5	35.2	-41.1	7.6

グローバルマーケット内訳					
フィクスト・インカム	76.6	70.5	55.6	41.0	77.8
エクイティ	93.4	90.1	76.5	46.3	55.2
その他	4.6	3.2	0.9	9.2	11.4
収益合計(金融費用控除後)	174.5	163.9	133.0	96.4	144.4
金融費用以外の費用	127.8	130.8	103.0	122.8	123.2
税前利益/損失	46.7	33.1	30.0	-26.3	21.1

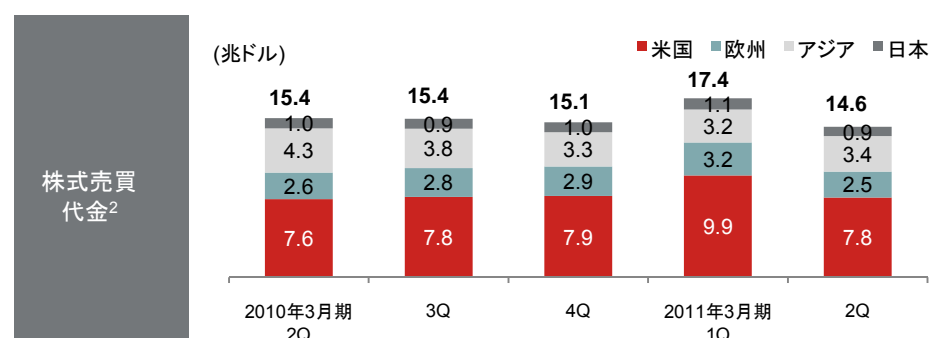
グローバル・マーケット顧客フローからの収入



コメント

- 収益: 1,634億円(前四半期比50.5%増、前年同期比18.0%減)
- 税前利益: 76億円(前年同期比80.0%減)
- ホールセール部門は、全てのビジネス・ライン(フィクスト・インカム、エクイティ、インベストメント・バンキング)で、前四半期比、増収
 - グローバル・マーケットは、第2四半期後半からの顧客フロービジネスの回復により、増収
 - インベストメント・バンキングでは、日本のECMビジネスの強みにより増収、M&A案件の獲得も増加
- 米国の立ち上げがほぼ完了、顧客基盤が順調に拡大

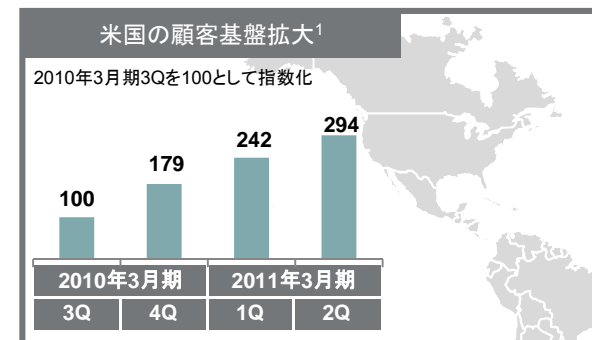
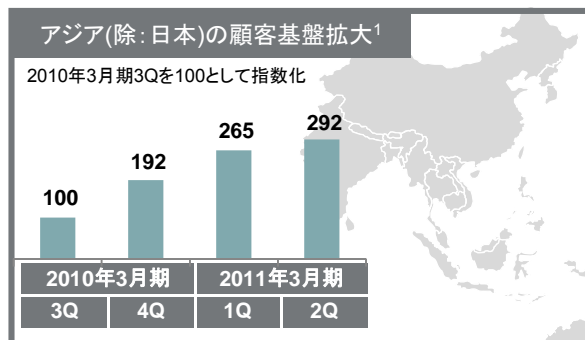
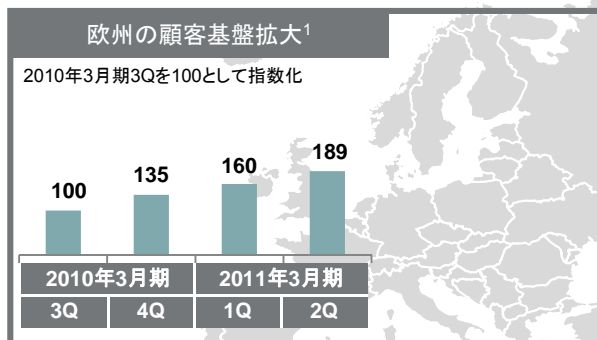
株式市場



ホールセール部門: グローバル・マーケット

- 国際的な顧客プラットフォームはさらに拡大、主だった商品において市場の認知度が高まる

地域別ISDA口座開設¹と、重点プロダクトの進捗



	日本	欧州	アジア	米国
	<ul style="list-style-type: none"> ■ グローバル・クレジット・プロダクト7位 (リスク誌インスティテューショナル・インベスター・ランキング) ■ 金利デリバティブの全インフレ商品で7位、全エキゾチック金利で8位(ユーロマネー誌金利デリバティブ調査) ■ 為替ビジネス・ランキングでグローバル18位と前年の57位から躍進 			
フィクスト・インカム	<ul style="list-style-type: none"> ■ 円デリバティブ1位 (ユーロマネー誌) ■ 国債落札額1位(財務省) ■ ベスト・インベストメント・バンク・イン・ジャパン(ユーロマネー誌) ■ ベスト・インベストメント・バンク・カントリー・アワード(グローバル・ファイナンス誌) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユーロ・デリバティブ8位、前年のランキング圏外から躍進(ユーロマネー誌) ■ Sponsor-led leveraged loans bookrunner² ランキングで1位 (2010年1-9月、ブルームバーク) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジア・フィクスト・インカム・リサーチ5位(ファイナンス・アジア) ■ フィクスト・インカム・セールス & トレーディング3位(ファイナンス・アジア誌) ■ アジア・クレジット5位(リスク誌) ■ インスティテューショナル・インベスター・ランキング) ■ ベスト・デット・バンク・アジア(グローバル・ファイナンス誌) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ All American Research Team (フィクスト・インカム) 7位(インスティテューショナル・インベスター誌)
エクイティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東証取引高シェア1位継続 ■ CBランキング1位(第三者機関) ■ 日本リサーチ部門1位(インスティテューショナル・インベスター誌) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロンドン証券取引所の英国株委託売買シェア1位継続 ■ CBランキング5位(第三者機関) ■ 欧州エクイティ・リサーチ部門2位(インスティテューショナル・インベスター誌) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジア主要取引所(インド、韓国、香港など)のシェア上昇 ■ 韓国取引所の外資ブローカーでトップ10入り ■ CBランキング1位(第三者機関) ■ 中国調査部門1位(インスティテューショナル・インベスター誌) ■ アジア・エクイティ・リサーチ部門2位 (インスティテューショナル・インベスター誌) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2010年4月立上げ後、CBランキング12位(第三者機関)

(1) 新たにISDA口座開設をした顧客数を集計

(2) Sponsor-led leveraged loans: ファイナンス・スポンサー(REITおよびヘッジファンドを除く投資ファンド等)による企業買収に際して供与されるローン

ホールセール: インベストメント・バンキング

■ 部門収益合計はクロスボーダーM&Aアディバザリー案件の増加に伴い、低迷していた第1四半期から56%増の190億円

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)	2010年3月期			2011年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
インベストメント・バンキング (グロス)	33.2	81.7	43.3	29.0	39.7
その他部門等への アロケーション	12.2	37.2	15.4	13.2	18.7
インベストメント・バンキング (ネット)	20.9	44.5	27.8	15.8	21.1
その他	3.9	1.8	7.6	-3.6	-2.0
収益合計(金融費用控除後)	24.8	46.2	35.5	12.2	19.0
金融費用以外の費用	33.3	30.8	30.2	27.0	32.5
税前利益/損失	-8.5	15.4	5.2	-14.8	-13.5

リーグテーブル¹

	2010年		2009年	
	1-9月	1-9月	1-9月	1-12月
グローバルECM	9位	9位	10位	9位
グローバルM&A	13位	13位	17位	15位

(注) 2010年10月26日時点のグローバルECMランクは9位、グローバルM&Aランクは13位。
日本企業関連ECMシェアは35.7%、M&Aシェアは43.9% (トムソン・ロイター)

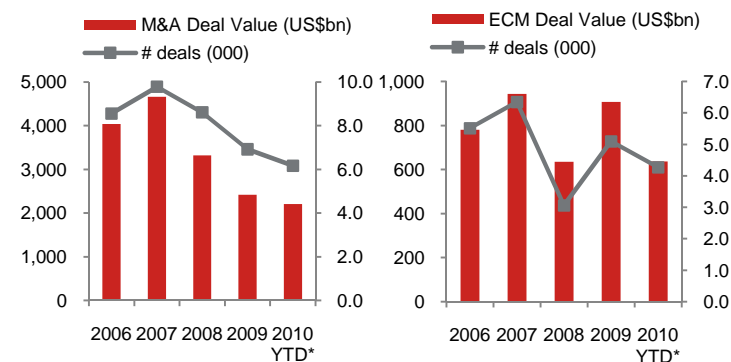
1. 出所: トムソン・ロイター
2. Sponsor-led leveraged loans: ファイナンシャル・スポンサー(REITおよびヘッジファンドを除く投資ファンド等)による企業買収に際して供与されるローン
3. 出所: Bloomberg (2010年1-9月)

Commentary

- 日本
 - 日本企業関連ECM、M&Aリーグテーブルで共に1位を維持
 - クロス・ボーダー M&Aに付随する為替やディール・コンティンジェント・ソリューションを提供
- 欧州
 - 大型M&A案件のモメンタムが向上
 - 欧州にてSponsor-led leveraged loans bookrunner²ランキングで1位獲得³
- アジア
 - 中国、インド、オーストラリアなどフィープールが大きな市場からのECM、クロスボーダーM&Aの案件を獲得
- 米州
 - 特定のセクターのカバレッジ体制を構築

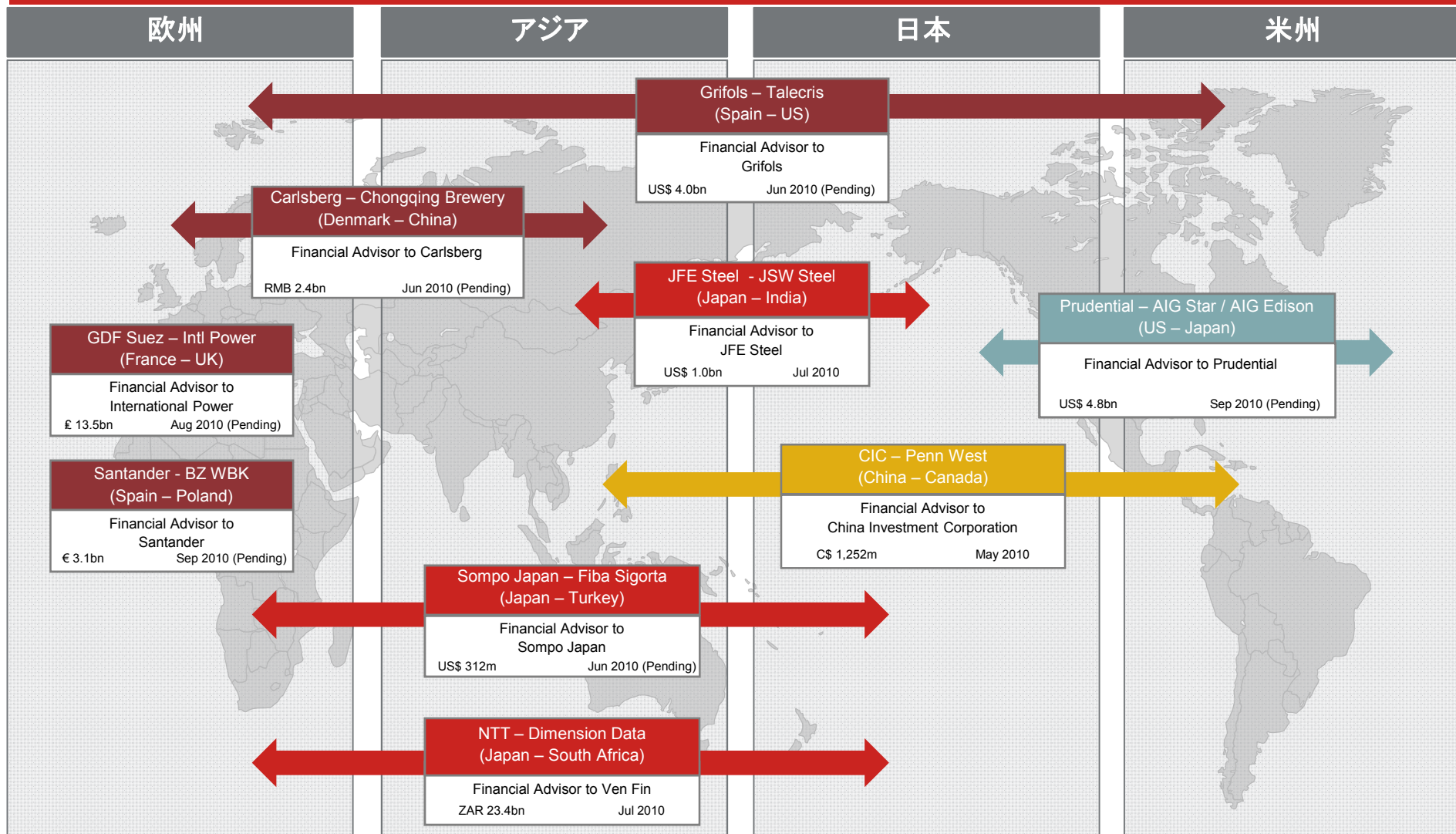
IB マーケット

グローバル
M&A, ECM
取引額の
トレンド⁴



ホールセール部門: インベストメント・バンキング- クロスボーダー案件で強味を發揮

2011年3月期上半期 主なクロスボーダー案件



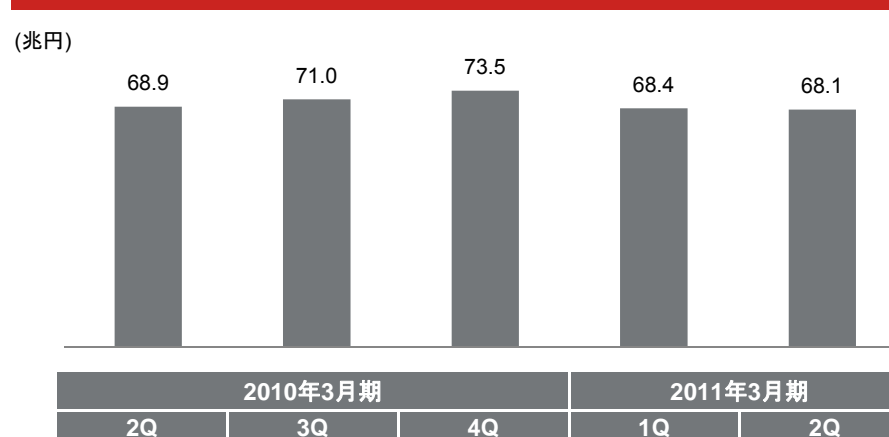
営業部門

- さらなる円高、方向感の定まらない株式市場により、投資家のアクティビティが低迷するなか、主要プロダクトである投信・外債販売にて資金流入が継続し、資産純増となる

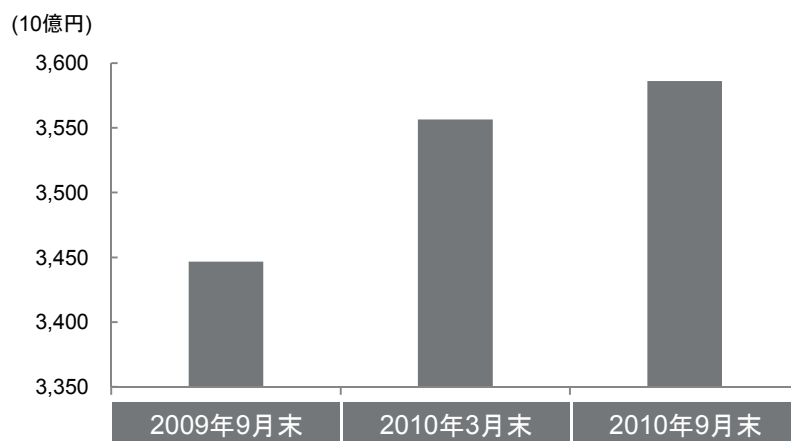
収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	2010年3月期			2011年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益合計(金融費用控除後)	93.2	104.3	95.5	111.0	87.8
金融費用以外の費用	66.8	69.1	71.5	73.2	65.0
税前利益	26.4	35.2	24.0	37.7	22.8

顧客資産残高



外債残高¹



1. リテールチャネルのみ

コメント

- 円高の進行、方向感の定まらない株式市場により、投資家のアクティビティが低迷する厳しい環境
- このような厳しい環境においても、主要プロダクトである投信、外債販売において資金流入が継続し、資産純増となる
- 顧客基盤
 - 顧客資産残高 68.1兆円
 - 残あり顧客口座数 492.3万口座
- 主な投信販売額
 - 野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 4,263億円
 - 野村米国ハイ・イールド債券投信 2,101億円
 - 野村グローバルCB投信 1,200億円
- その他の販売状況(2Q計)
 - IPO、PO 4,269億円
 - 外債販売額 4,376億円

アセット・マネジメント部門

- 運用資産残高、投資信託および投資顧問業務が成長、引続き国内での圧倒的な地位を維持

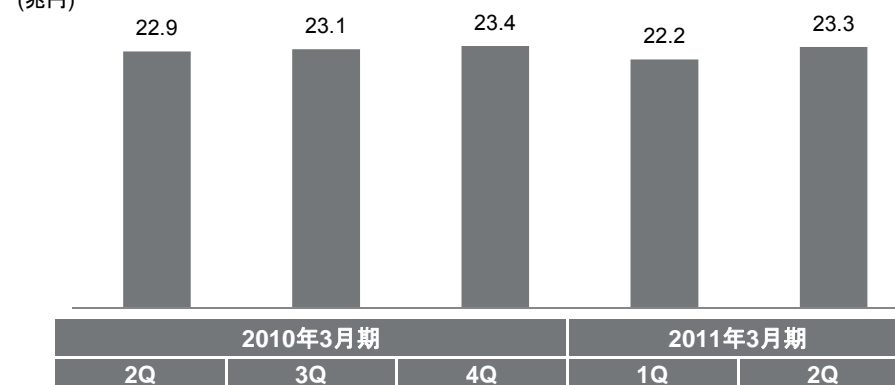
収益合計(金融費用控除後)、税前提利益

(10億円)

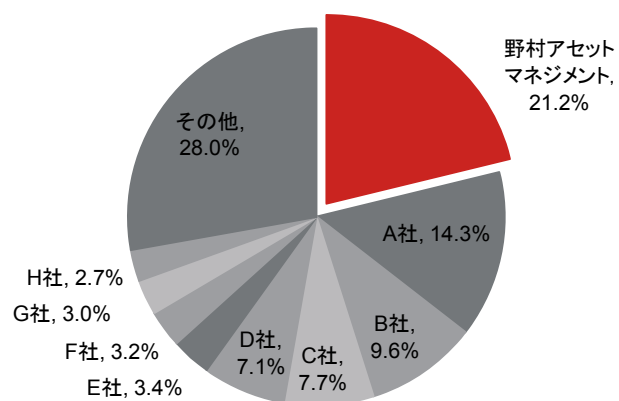
	2010年3月期			2011年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益合計(金融費用控除後)	16.5	17.2	18.0	18.1	19.3
金融費用以外の費用	12.0	13.2	13.1	13.2	14.1
税前提利益	4.5	4.1	4.9	4.9	5.2

運用資産残高

(兆円)



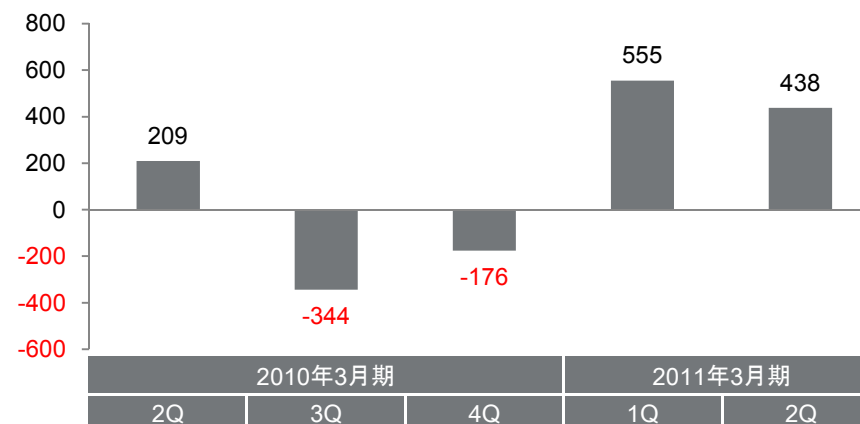
公募投信シェア(2010年9月末)^{1,2}



1. 野村アセットマネジメント単体
2. 投資信託協会資料から野村アセットマネジメント作成

公募株式投信(除:ETF)資金流出入¹

(10億円)

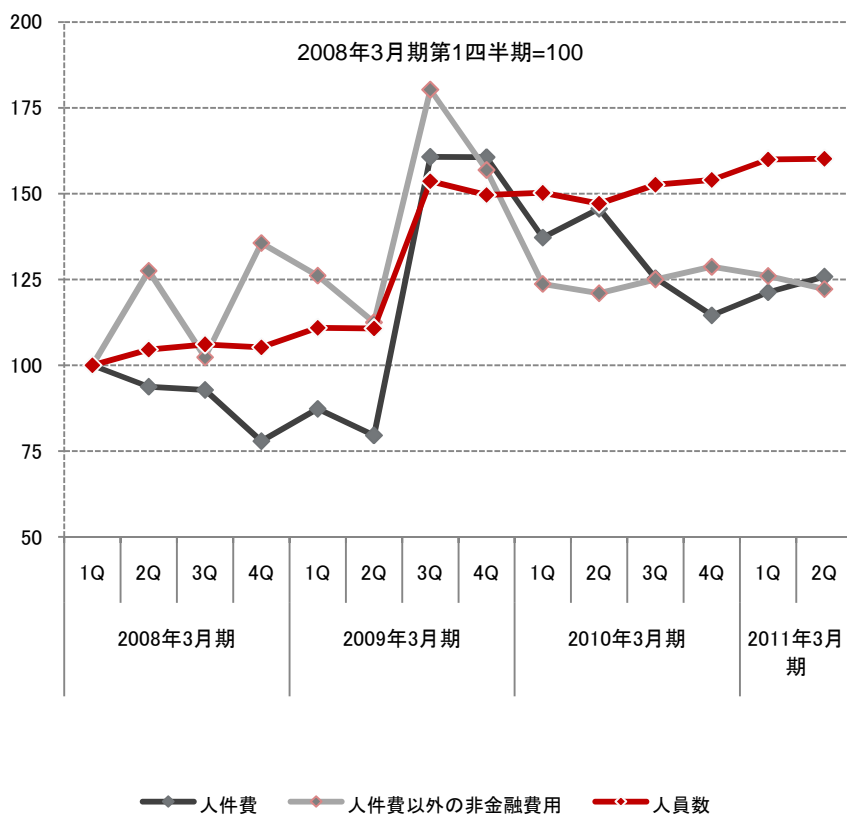


費用水準

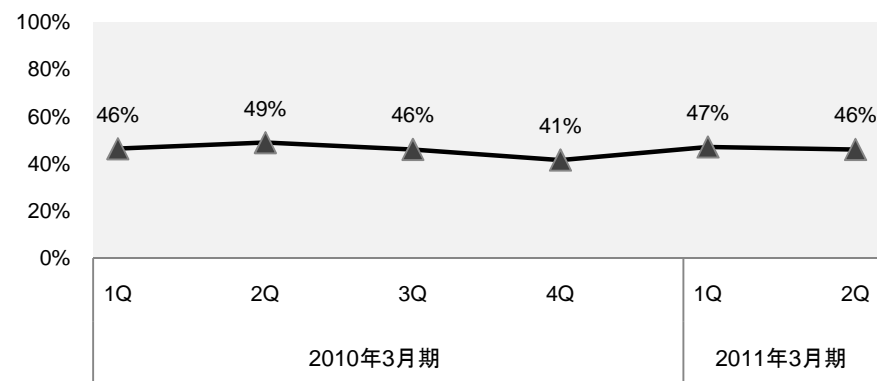
- 金融費用以外の費用は、コスト管理と業績連動型の報酬体系の浸透に伴い、人員数の増加にもかかわらず2009年3月期にピークを打ち、以降漸減し、現在ほぼ横ばい。人件費以外の費用はリーマン統合関連の主だった投資が一巡したことから概ねピークアウト

非金融費用トレンド

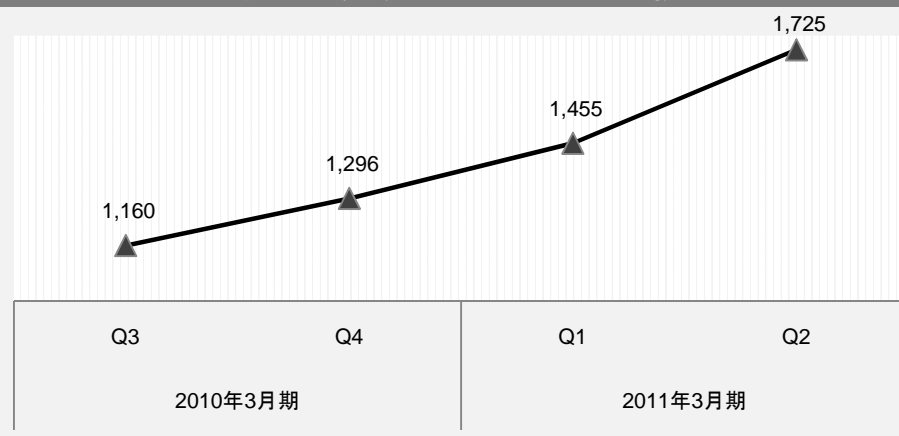
人員数・費用動向(指数化)



人件費レシオ



米国の人員数¹ — ターゲットに接近



1. Instinet, NOMURA ASSET MANAGEMENT U.S.A. INC.を除く

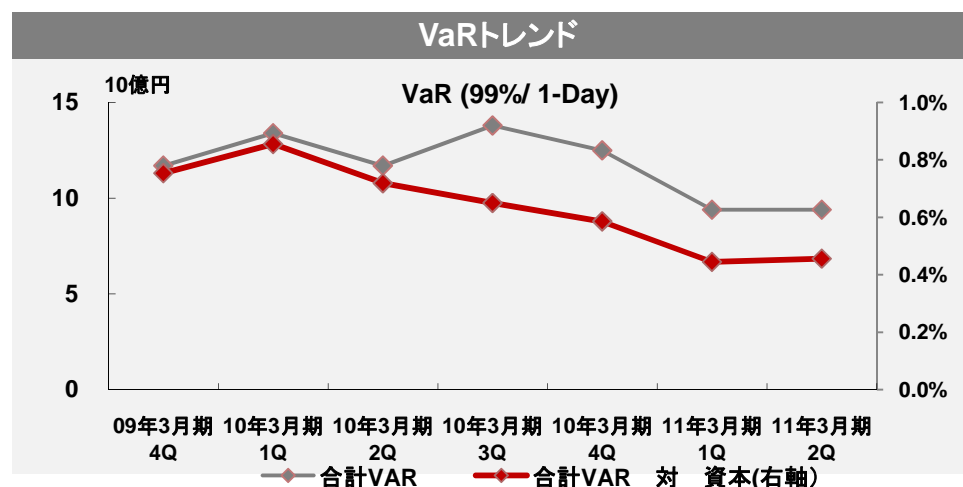
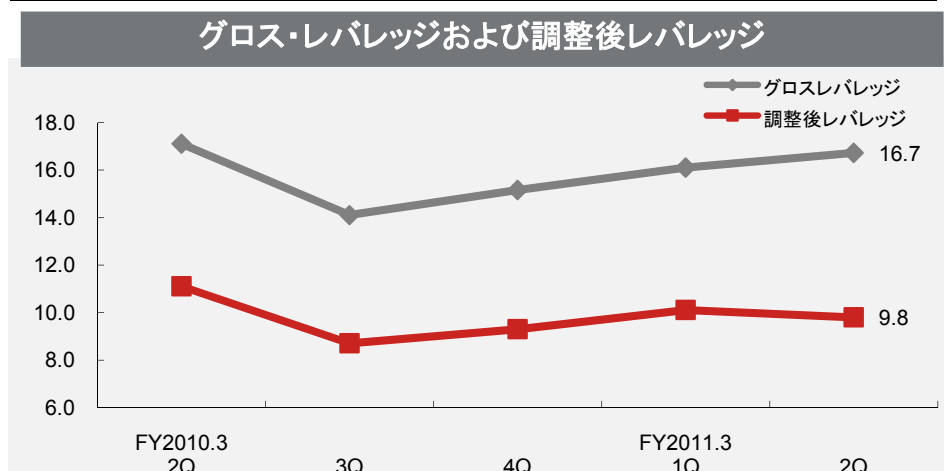
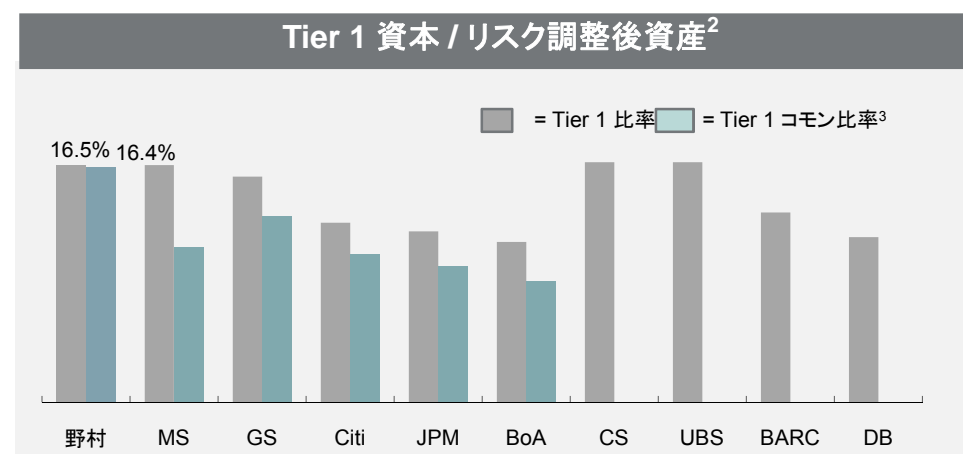
- 1 野村グループ - 概観
- 2 2011年3月期第2四半期 決算概要
- 3 資本、流動性およびリスクマネジメント
- 4 資料

強固な資本基盤、流動性プロファイルおよびバランスシートマネジメント

- 業界トップクラスの資本水準、2010年9月末Tier 1比率16.5%、自己資本比率22.7%¹
- グロスレバレッジは引続き適切な水準16.7倍、ネットレバレッジ9.8倍

資本基盤・レバレッジ・VAR (2010年9月)

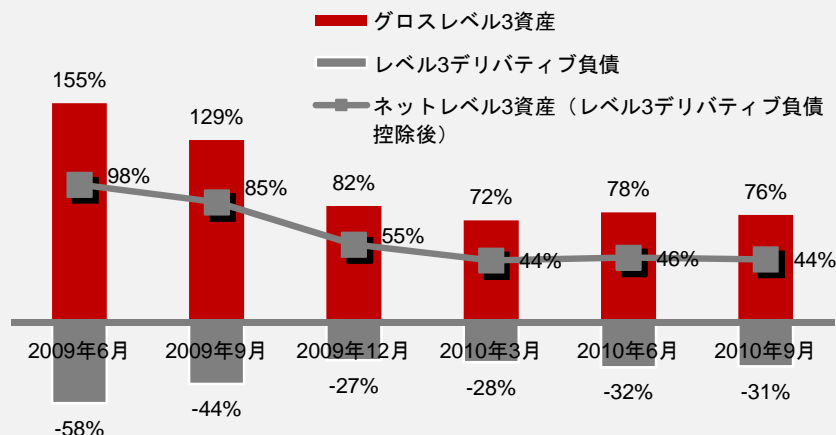
資本基盤		
(速報値)	6月末	9月末
Tier 1	1,986	1,942
Tier 2	500	497
Tier 3	306	289
自己資本合計	2,733	2,671
リスク調整後資産	11,723	11,757
Tier 1 比率	16.9%	16.5%
Tier 1 コモン比率 ³	16.8%	16.4%
自己資本比率	23.3%	22.7%



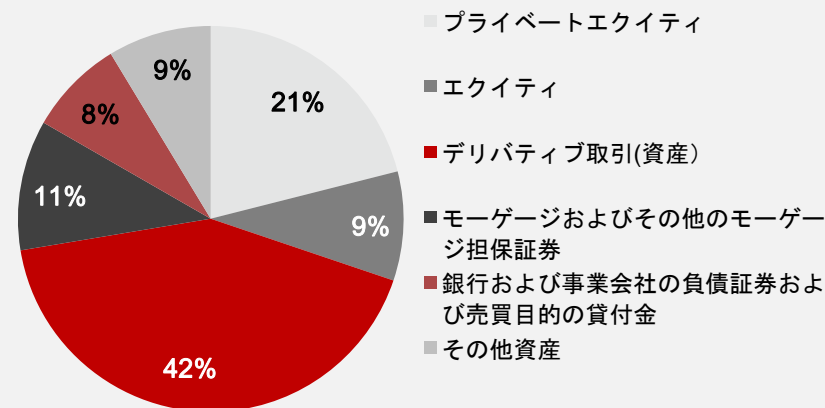
1. レビュー前の暫定数値
 2. Tier1コモン: Tier 1 資本からハイブリッド証券および少数株主持分を控除
 3. 注: パークレイズの数値は2010年6月末現在. 本ページで使用しているデータおよび表現の欠落・誤謬等につきましてはその責を追いかねますのでご了承ください。

レベル3資産

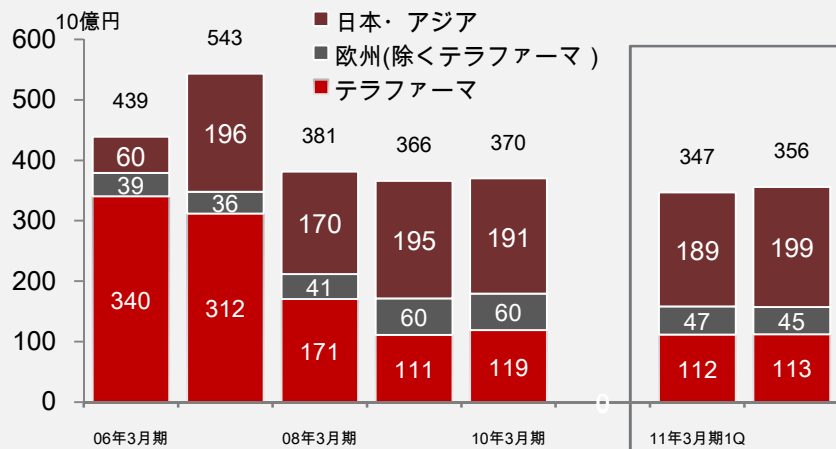
レベル3資産の推移 (Tier1資本対比 (%))¹



レベル3資産内訳 (2010年3月)^{1,2}



Private Equity Assets³



Commentary

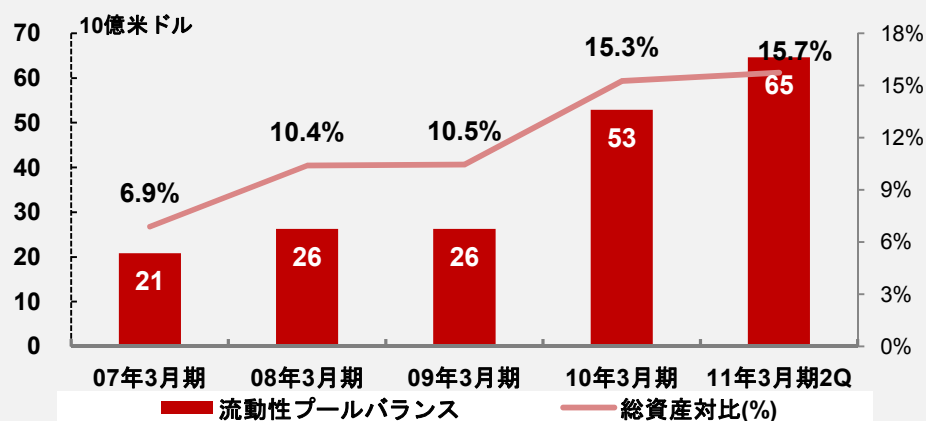
- 2010年9月末のグロスのレベル3資産残高は前四半期から概ね横ばいの約1.47兆円、デリバティブ負債控除後のネットベースでは約0.9兆円
- Tier 1資本対比44%(ネットベース)
- (ネットベースでの)レベル3資産の最大の構成要素であるプライベート・エクイティ投資は引き続き慎重にマネージあるいは秩序だったエグジットを図る

1. レビュー前の暫定数値
 2. グロスベースの数値
 3. 日本の残高は野村プリンシパルファイナンス(NPF)、野村ファイナンシャルパートナーズ(NFP)および野村リサーチ・アンド・アドバイザー(NR&A)の合計
 欧州の残高(テラファーマ除く)はPrivate Equity Group (PEG)およびNomura Phase4 Ventures(NPV)等の合計

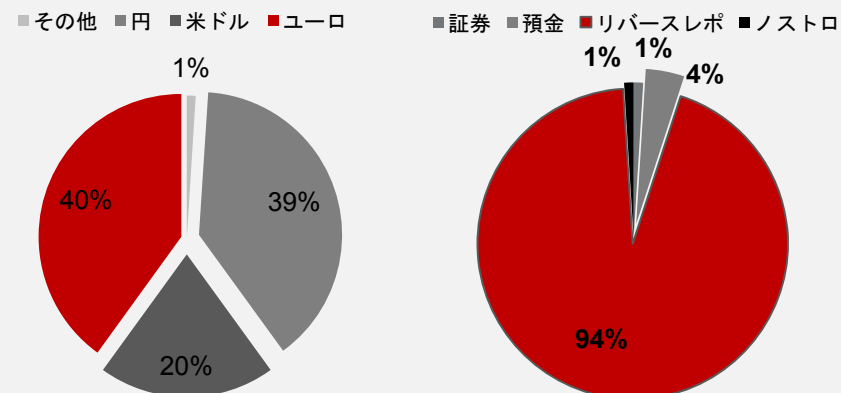
流動性および調達: 安定的な調達構造

- 流動性プールは歴史的な高水準の約650億ドル、ストレスを受けた市場環境下で予想される向う12カ月間の債務償還資金を確保
- プールされた資産は通貨毎に分散、即座に換金可能な資産にて運用
- スムースな償還期限の分布により再調達リスクを極小化 – 償還まで1年超の長期負債の平均残存期限は6年超
- 無担保債務の76%は長期負債

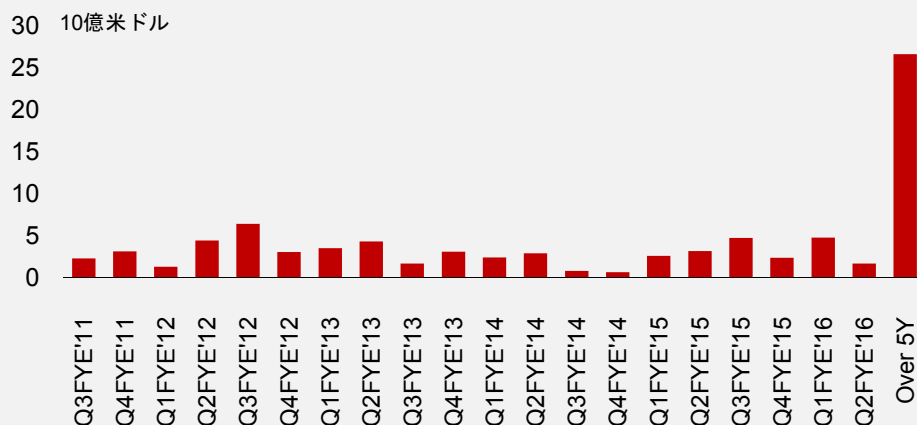
流動性プール残高¹



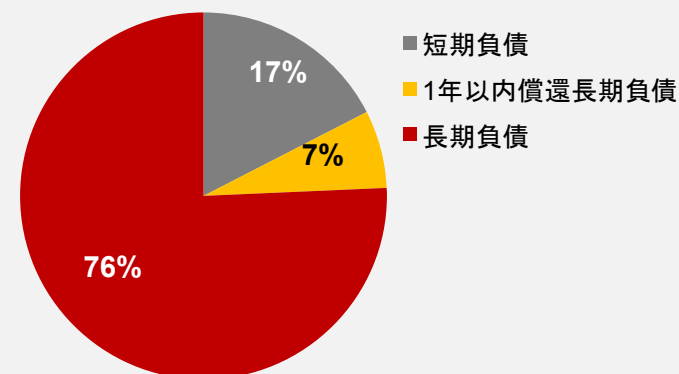
流動性プール:通貨・商品¹



スムーズな長期負債償還期限分布²



アンセキュアードファンディング詳細¹



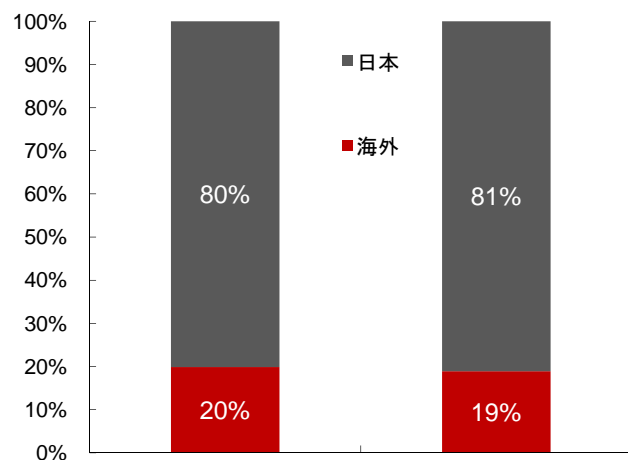
1. 流動性プールは流動性管理の観点に基づくもので財務諸表の定義とは異なる。
 2. 償還スケジュールはストレスシナリオでの早期償還確率を織込む

流動性および調達: 安定的な資金調達源

- 2011年3月期上半期において当社は、以下のように安定したアジア市場を活用
 - 15年債を含む長期債約1,800億円の国内発行
 - 約1,750億円相当の4年物豪ドル、ニュージーランド・ドル債、並びに320億円相当の米ドル債の国内発行
 - イスラム金融へ進出-1億米ドルのスーク債（イスラム金融の一形態）、および7千万米ドルの3年物「コモディティ・ムラバハ」ファシリティのローンチに成功
- 日本における調達ソースは適切に分散化、一方で有利な金利環境を活かすべく積極的に債務の長期化を図る
- 投資家、通貨、ストラクチャーあるいは商品タイプの分散は調達戦略の鍵。調達の大半は国内で行われているものの、昨年度は米ドル、ユーロ、英ポンド建の社債を発行し、各通貨でのカーブの創出を図る。引続きグローバル市場での発行を継続する

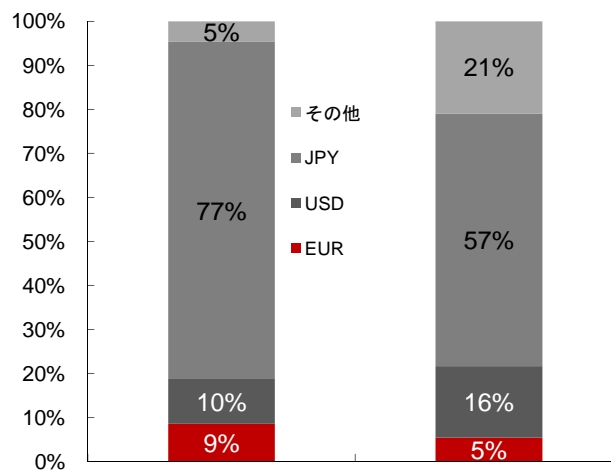
長期調達 (2010年9月)

地域構成



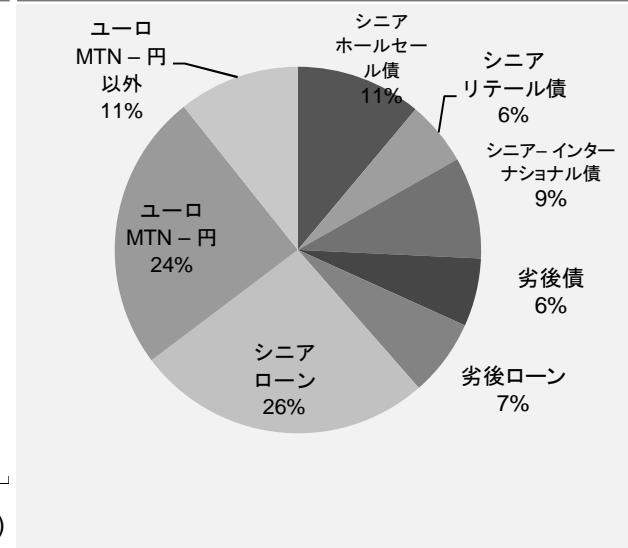
残高(2010年9月末) 実績(10年4月-10年9月)

通貨構成



残高(2010年9月末) 実績(10年4月-10年9月)

商品構成



バーゼル3

バーゼル3の適用により想定される当社への影響

関連主要項目の当社への影響見通し

■ Tier 1コモン比率

- 継続的な低流動性資産の削減、資産効率の見極めに基づく投資有価証券の削減などを考慮したリスク調整後資産(RWA)は、2013年3月末時点で19兆円程度と想定
- アナリスト予想数値を基にした内部留保の積み上げと、新規制での資本控除を考慮したTier 1コモンは約2.3兆円と想定
- 現在までに明らかになっている規制上の所要水準を大きく上回るTier 1コモン比率を維持できる見込み

■ 流動性規制

- バーゼル3における流動性管理の具体的なルールについては、細目の決定を待たなければならないが、当社は現在示されている管理手法とほぼ同様な基準に基づき流動性を維持しており、新規制での必要額も満たしていける見込み

2013年3月末時点の当社想定値

(単位:10億円)

	2010年9月(実績値)	2013年3月
アナリスト予想による 収益(金融費用控除後)	-	1,370
アナリスト予想による 税前利益	-	260
Tier 1コモン	1,933	2,300 (想定値)
リスク調整後資産	11,757	19,000 (想定値)
Tier 1コモン比率	16.4%	12% (想定値)

2013年3月までのリスク調整後資産に関する主な施策

- 投資有価証券等の削減
- 無格付証券化商品の削減

- 1 野村グループ - 概観
- 2 2011年3月期第2四半期 決算概要
- 3 資本、流動性およびリスクマネジメント
- 4 資料

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(単位：10億円)

	2010年 3月末	2010年 9月末	前期比増減		2010年 3月末	2010年 9月末	前期比増減
資産				負債			
現金・預金	1,352	945	-407	短期借入	1,302	1,173	-128
貸付金および受取債権	2,072	1,896	-176	支払債務および受入預金	1,528	1,580	52
担保付契約	12,467	14,216	1,749	担保付調達	11,216	12,497	1,281
トレーディング資産および プライベート・エクイティ投資*	14,700	15,442	742	トレーディング負債	8,357	8,575	218
その他の資産	1,639	1,798	159	その他の負債	495	425	-70
資産合計	32,230	34,296	2,066	長期借入	7,199	7,985	786
				負債合計	30,097	32,236	2,138
				資本			
				野村ホールディングス株主資本合計	2,127	2,052	-75
				非支配持分	6	9	3
				負債および資本合計	32,230	34,296	2,066

*担保差入有価証券を含む

連結損益

(単位:10億円)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期	
						2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益										
委託・投信募集手数料	356.3	337.5	404.7	306.8	395.1	95.4	101.0	96.6	118.1	83.5
投資銀行業務手数料	108.8	99.3	85.1	55.0	121.3	15.6	44.5	31.4	20.4	24.9
アセットマネジメント業務手数料	102.7	146.0	189.7	140.2	132.2	34.0	34.2	33.7	34.9	33.7
トレーディング損益	304.2	290.0	61.7	-128.3	417.4	148.5	66.5	81.3	60.0	103.0
プライベート・エクイティ投資関連損益	12.3	47.6	76.5	-54.8	11.9	2.0	2.3	9.7	-0.9	-1.0
金融収益	693.8	981.3	796.5	331.4	235.3	53.6	67.4	55.9	75.8	70.0
投資持分証券関連損益	67.7	-20.1	-48.7	-25.5	6.0	-2.3	-3.8	2.4	-10.3	-5.7
プライベート・エクイティ投資先企業売上高	88.2	100.1	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	58.8	67.4	28.2	39.9	37.5	8.7	9.4	5.2	16.3	12.0
収益合計	1,792.8	2,049.1	1,593.7	664.5	1,356.8	355.5	321.6	316.1	314.0	320.4
金融費用	647.2	958.0	806.5	351.9	205.9	55.4	47.1	38.2	54.2	44.8
収益合計(金融費用控除後)	1,145.7	1,091.1	787.3	312.6	1,150.8	300.0	274.5	277.9	259.8	275.6
金融費用以外の費用	693.7	772.6	852.2	1,092.9	1,045.6	272.7	256.6	249.3	253.4	254.0
税引前当期純利益(損失)(継続事業)	452.0	318.5	-64.9	-780.3	105.2	27.3	18.0	28.6	6.5	21.6
税引前当期純利益(非継続事業)	99.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益(損失)	551.4	318.5	-64.9	-780.3	105.2	27.3	18.0	28.6	6.5	21.6
野村ホールディングス株主に帰属する 当期純利益(損失)(継続事業)	256.6	175.8	-67.8	-708.2	67.8	27.7	10.2	18.4	2.3	1.1
野村ホールディングス株主に帰属する 当期純利益(非継続事業)	47.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益(損失)	304.3	175.8	-67.8	-708.2	67.8	27.7	10.2	18.4	2.3	1.1

注:当期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示しております。

格付

2010年10月29日現在

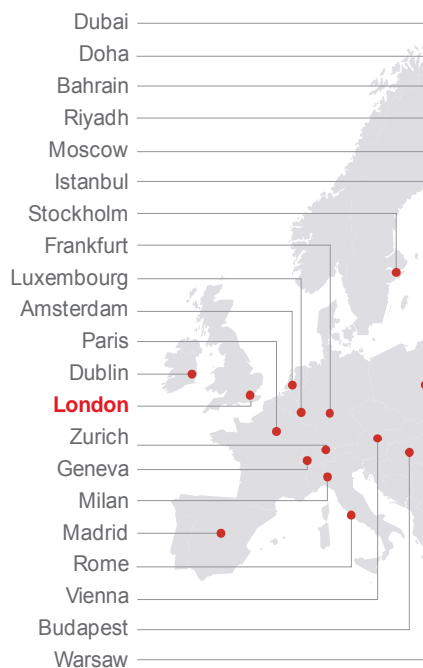
	S&P	Moody's	Rating and Investment Information	Japan Credit Rating Agency
Nomura Holdings, Inc.				
Long-term	BBB+	Baa2	A+	AA-
Short-term	A-2	-	a-1	-
Outlook	Stable	Stable	Stable	Stable
Nomura Securities Co., Ltd.				
Long-term	A-	Baa1	A+	AA-
Short-term	A-2	P-2	a-1	-
Outlook	Stable	Stable	Stable	Stable
The Nomura Trust & Banking Co., Ltd.				
Long-term	A-	-	-	AA-
Short-term	A-2	-	a-1	-
Outlook	Stable	-	-	Stable
Nomura Bank International plc				
Long-term	A-	-	-	AA-
Short-term	A-2	-	-	-
Outlook	Stable	-	-	Stable

グローバルリーチ

- 2008年のリーマン欧州およびアジアの承継後の米州におけるオーガニックグロースにより、世界各地にフットプリント確立

Global Presence

Europe and Middle East



Asia-Pacific



Americas

